

10 月 14 日 : 大型株への利食い売りに押され、VN 指数は続落

VN 指数は大引けにかけて大型株への利食い売りに押され、朝方と同様に下げる展開となった。対照的に HNX 指数はこの日、上昇して引けた。外国人投資家は引き続き両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で売り越した。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.06 ポイント安の 1,391.85 ポイントで引けた。小幅安であったが、騰落銘柄数は値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回った。

同市場の出来高は、増加傾向が続いた。売買高は 7 億 2,550 万株超で、売買代金は 22 兆 1,000 億ドン（7 億 8,210 万米ドル）を超えた。

複数の大型株が売られ、指数の重しとなった。VN30 指数はこの日 0.14%（2.17 ポイント）安の 1,503.38 ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、15 銘柄が下落、7 銘柄が上昇、4 銘柄は変わらずだった。

特に大手不動産銘柄はマーケットの下落トレンドをけん引した。中でもビンググループ関連銘柄であるビンホームズ（VHM）、ビンググループ（VIC）は、それぞれ値下がり寄与度で上位だった。ビンホームズは午後の取引で下げ幅を拡大させた。

終値は、ビンホームズ（VHM）が 1.38%安の 78,900 ドン、ビンググループ（VIC）が 0.64%安の 92,500 ドンだった。

銀行株も軟調な動きとなった。サイゴンハノイ銀行（SHB）が 3.33%安、ベトナム投資開発銀行（BID）が 0.31%安とそれぞれ弱い動きだった。

しかしベトナムゴム工業グループ（GVR）、ファットダット不動産開発（PDR）、DIG 不動産（DIG）といった一部の銘柄に買いが入り、VN30 指数を下支えた。これらの銘柄はそれぞれ 2.4～5.65%上昇した。

またハノイ市場の HNX 指数は、1.45%（5.5 ポイント）高の 384.84 ポイントで引けた。同市場に上場するベトナム工業団地都市開発（IDC）は、この日 9.58%高と大きく上昇した。

売買高は 1 億 2,349 万株で、売買代金は 2 兆 9,000 億ドンを超えた。

一方で、外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて 6,878 億ドンを売り越した。そのうち、ホーチミン市場で 6,449 億 8,000 万ドンを、ハノイ市場で 428 億 2,000 万ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。